



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 大
 コード番号 2349 URL http://www.nid.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）鈴木 清司
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名）下山 和郎（TEL）03（3365）2621
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,586	3.2	131	△18.6	142	△15.2	60	△41.2
24年3月期第1四半期	3,474	1.6	161	6.3	168	5.9	102	174.0

（注）包括利益 25年3月期第1四半期 39百万円（△60.5%） 24年3月期第1四半期 99百万円（101.5%）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	15	90	—	—
24年3月期第1四半期	27	06	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
25年3月期第1四半期	10,997	6,133	6,133	6,133	55.8	55.8
24年3月期	11,108	6,264	6,264	6,264	56.4	56.4

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 6,133百万円 24年3月期 6,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00
25年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	7,250	0.5	400	8.4	380	0.7	235	7.8	62	07
通期	15,300	3.2	1,050	20.5	1,030	14.5	630	91.5	166	42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	4,369,830株	24年3月期	4,369,830株
25年3月期1Q	584,237株	24年3月期	584,237株
25年3月期1Q	3,785,593株	24年3月期1Q	3,785,593株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、徐々に持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機や円高の長期化、デフレの継続など景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの属する情報サービス業界においては、景気の不透明感から企業のIT投資に対する需要は抑制傾向のまま推移し、厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、引き続き既存顧客に対する現場営業の徹底と、「とる営業」から「生み出す営業」への転換などにより営業体制を強化し、受注獲得に努めました。また、既存分野の事業に加えて付加価値ビジネスへも取り組み、当社グループの技術を生かしつつ新たな事業領域の拡大を目指しております。その中心として当社独自に開発した、Androidスマートフォン向けアプリの「VALiB0」(注1)とサービスプラットフォーム「Nstylist」(注2)の販売展開に注力いたしました。

売上面では、通信システム事業と情報システム事業の受注が好調に推移し、前年同四半期を上回る結果となりました。利益面では、8月に予定している本社移転統合にかかる費用、前期から継続する震災に起因するNID東北の不振、及び一部不採算プロジェクトの発生により、前年同四半期を下回る結果となりました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高3,586百万円(対前年同四半期比3.2%増)、営業利益131百万円(同18.6%減)、経常利益142百万円(同15.2%減)、四半期純利益60百万円(同41.2%減)となりました。

尚、当社グループの売上高の計上は検収基準を採用しておりますので、業績の特徴として、売上高および利益が第2四半期および第4四半期に集中する傾向があります。

注1 「VALiB0」:Androidスマートフォン向けアプリケーション。スマートフォンの待受画面の新しい活用スタイルを提供するもので、インストールすることで最大8面分、選択したブランド(企業)の待受画面を設置できます。それぞれのブランドが提供する待受画面の情報は自動更新され、利用者は待受画像の変化を楽しんだり、すばやく最新情報をチェックすることができます。

注2 「Nstylist」:タブレットやスマートフォンなどのAndroid OS端末に搭載することで、企業のニーズに対応するアプリケーションサービスを簡単に作成・提供できます。また、専用サーバーの「Nstylist server」と「Nstylist」搭載端末がダイレクトに連携し、シームレスな情報管理を実現するとともに、システムインフラの保守・運用を総合的にサポートします。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①通信システム事業

当事業では、自動車や医療関連の受注が増加し、モバイル関連の受注も安定的に推移しましたが、一部不採算プロジェクトが発生しました。この結果、売上高は871百万円(対前年同四半期比10.8%増)、営業利益18百万円(同25.6%減)となりました。

②情報システム事業

当事業では、流通、製造業や生損保、共済関連の受注が増加しましたが、一部不採算プロジェクトが発生しました。この結果、売上高は710百万円(同8.6%増)、営業利益27百万円(同28.7%減)となりました。

③ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸業や生損保、物流等の主要顧客からの受注は安定的に推移しましたが、官公庁関連の受注は減少しました。この結果、売上高は1,091百万円(同2.9%減)、営業利益54百万円(同8.9%増)となりました。

④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注は電力関連の顧客を中心に増加しましたが、システム開発の受注は減少しました。この結果、売上高は582百万円（同0.4%減）、営業利益21百万円（同35.0%減）となりました。

⑤NID・IE

当事業では、官公庁関連の受注が減少しました。この結果、売上高は192百万円（同2.5%減）、営業利益15百万円（同22.9%減）となりました。

⑥NID東北

当事業では、震災の影響による停滞が依然として継続し、厳しい状況で推移しました。この結果、売上高は138百万円（同8.2%増）、営業損失8百万円（前年同四半期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ182百万円減少し8,543百万円となりました。固定資産は敷金及び保証金の増加により、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し2,453百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ111百万円減少し、10,997百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金および未払金の増加、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し2,249百万円となりました。固定負債は役員退職慰労引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し2,614百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、4,863百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ131百万円減少し6,133百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.8%（前連結会計年度末は56.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね当初計画通りに推移しており、第2四半期連結累計期間および通期ともに平成24年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,553,362	5,649,544
受取手形及び売掛金	2,286,093	1,877,396
有価証券	1,039	1,039
仕掛品	272,815	378,205
繰延税金資産	434,780	354,052
その他	178,000	283,538
流動資産合計	8,726,091	8,543,776
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他(純額)	111,069	106,960
有形固定資産合計	247,836	243,727
無形固定資産		
ソフトウェア	214,467	226,464
その他	43,854	24,510
無形固定資産合計	258,322	250,975
投資その他の資産		
投資有価証券	423,538	384,804
繰延税金資産	900,829	911,620
差入保証金	476,747	585,187
その他	75,371	77,179
投資その他の資産合計	1,876,487	1,958,791
固定資産合計	2,382,647	2,453,494
資産合計	11,108,738	10,997,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,266	300,567
短期借入金	—	410,000
未払金	348,718	476,083
賞与引当金	894,031	447,305
その他	662,358	615,950
流動負債合計	2,227,375	2,249,906
固定負債		
退職給付引当金	2,104,396	2,108,277
役員退職慰労引当金	402,300	397,612
その他	110,235	108,159
固定負債合計	2,616,932	2,614,049
負債合計	4,844,307	4,863,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,403,131	6,292,987
自己株式	△1,226,363	△1,226,363
株主資本合計	6,318,795	6,208,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54,364	△75,336
その他の包括利益累計額合計	△54,364	△75,336
純資産合計	6,264,430	6,133,315
負債純資産合計	11,108,738	10,997,271

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,474,941	3,586,707
売上原価	2,863,182	2,995,689
売上総利益	611,758	591,018
販売費及び一般管理費	450,256	459,614
営業利益	161,501	131,404
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	3,117	3,945
受取保険金	900	6,156
その他	2,731	1,345
営業外収益合計	6,755	11,450
営業外費用		
支払利息	253	350
その他	0	—
営業外費用合計	253	350
経常利益	168,003	142,504
特別利益		
固定資産売却益	101	—
特別利益合計	101	—
特別損失		
その他	275	33
特別損失合計	275	33
税金等調整前四半期純利益	167,829	142,470
法人税、住民税及び事業税	638	712
法人税等調整額	64,766	81,550
法人税等合計	65,405	82,262
少数株主損益調整前四半期純利益	102,424	60,208
四半期純利益	102,424	60,208
少数株主損益調整前四半期純利益	102,424	60,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,117	△20,971
その他の包括利益合計	△3,117	△20,971
四半期包括利益	99,307	39,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,307	39,236

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	786,361	653,960	1,124,632	584,958	197,407	127,621	3,474,941
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,474	9,130	20,351	142,686	170,359	7,891	358,894
計	794,835	663,091	1,144,983	727,644	367,767	135,512	3,833,835
セグメント利益又は損失(△)	25,198	38,775	49,632	32,916	20,368	△5,630	161,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	161,261
セグメント間取引消去	772
全社費用(注)	3,660
棚卸資産の調整額	△1,268
その他	△2,924
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	161,501

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	871,565	710,272	1,091,582	582,696	192,519	138,071	3,586,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,714	550	11,755	90,684	169,285	32,896	308,887
計	875,280	710,822	1,103,338	673,380	361,805	170,968	3,895,595
セグメント利益又は損失（△）	18,759	27,631	54,039	21,380	15,700	△8,145	129,365

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	129,365
セグメント間取引消去	975
全社費用（注）	2,091
棚卸資産の調整額	△904
その他	△124
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	131,404

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「NID・IS」のセグメント利益及び「NID東北」のセグメント損失に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。